

八重洲の語源

JJ1SXA 池

今はもう思い出の時代になってしまったが、私が DX に夢中だった頃、トリオ(現ケンウッド)と並び世界でもてはやされていた八重洲(現バーテックススタンダード)のブランド、私には、「ヤーズ」としか聞こえなかったが…

「八重洲無線」は、「ゼネラルテレビサービス」が本社を八重洲に移転した際、「八重洲無線」に改称され、その後は、「バーテックススタンダード」、「八重洲」も「バーテックススタンダード」もブランドとしては残るものの、現在の親会社は「モトローラ」、平家物語にあるごとく、まさに「…盛者必衰のことわりをあらわす…」か？寂しい限りです。

八重洲は、東京駅八重洲口で知られる中央区にある地名ですが、徳川家康の時代は、江戸の丸の内、東京駅ができて、丸の内と八重洲に分断されたというわけですが、この八重洲の語源は、オランダの航海士「ヤン・ヨーステン・ファン・ローデンスタイン…日本名は耶楊子(やようす)」の屋敷があったことで、これが語源だそうです。

ヤン・ヨーステンは、オランダ船リーフデ号に乗り込み、航海長であるイギリス人ウィリアム・アダムス(三浦按針)とともに 1600 年豊後に漂着、徳川家康に信任され、江戸の丸の内に邸を貰い、日本人と結婚しています。



東京都中央区八重洲にあるヤン・ヨーステンとリーフデ号の彫像

余談になりますが、三浦按針のことです、こちらも家康に外交顧問として仕え、250 石取りの旗本に取り立てられ、帯刀を許されたのみならず、相模国逸見(へみ)…現横須賀市に采地を与えられました、姓の三浦は、領地のある三浦半島に因んでいます、異国人でありながら、日本の武士として生きるという数奇な境遇で過ごしました。

按針の墓は長崎県平戸市の「埼公園」にあり、横須賀市西逸見の「塚山公園」には、按針夫妻の慰霊碑があり、国の史跡に指定されています。